

PT・OT 各位

平成27年3月吉日 SJF 学会  
理事 宇都宮初夫  
北海道東北支部  
理事 太田ちえ  
支部長 山中綾子

## S J F 学会技術研修会北海道地区基礎コース開催のご案内

早春の候、PT・OT の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度は北海道地区で SJF 技術研修会基礎コースを下記の要項で開催いたします。3年ぶりの基礎コースの開催です。皆様の技術向上、臨床での活用の幅が広がるための入り口となる研修会です。会員、非会員は問いません。以前に受講された2回目以降の方もコースの内容が年々新しくなっておりますので、再受講をお受けいたします。また、今年度からコース2触診が再開され追加になっております。

今回のコース1の総論は、宇都宮初夫 SJF 学会理事長が行います。このコースのみ、PT、OT であればどなたでも受講することができます。本来の PT・OT のあり方や職域について知る貴重な機会になります。多くの皆様の応募をお待ちいたしております。

### 記

<日時と内容>

コース1 総論 5月30日(土) 9:00~17:00

※宇都宮初夫 SJF 学会理事長が行います。どなたでも受講可能です。

コース2 触診・コース3 基本技術 8月22日(土) 23日(日)

コース4・5 上肢 10月24日(土) 25日(日)

コース6・7 下肢 12月12日(土) 13日(日)

コース8・9 体幹 2月6日(土) 7日(日)

※コース2から9まで2コースずつの土曜日曜の開催になりますが、諸事情により日曜日のコースを1コマ分、前日に繰り上げて行います。ご了承ください。

土曜日 9:00~18:15

日曜日 9:00~15:15

※全コース受講を基本とします。

30分以上の遅刻早退は受講とみなされませんのでご注意ください。

<場所>

札幌医科大学附属病院 2階リハビリテーション部

住所：札幌市中央区南1条西16丁目

※交通機関をご使用ください。

<定員>

最小開催人数

40名

※応募多数の場合は1回目受講・会員を優先いたします。

<受講資格>

PT・OT

会員・非会員は問いません。2回目以降の受講も可能です。

<募集期間>

3月10日（火）～5月18日（月）

<受講費>

全コース

65,000円（保険料2,000円を含む）一括納入になります。

※コース2～9に傷害保険が適用になり、その費用も含んでいます。

※入金後、いかなる事由においても返金は致しかねますのでご了承ください。

※なんらかの事情によって受講できないコースがあった場合、他地区での受講が年度内であれば可能になっています。

<受講申し込み方法>

北海道東北支部ホームページ(<http://www.daichikai-sjf.com/>)からの申し込みになります。

SJF 学会コース情報を開いていただき、必要事項を Excel ファイルにご記入の上、コース申し込みメールアドレス宛にご送信ください。

申し込み後、申し込み確認メール・受講費振り込み先および受講するにあたっての注意事項等を1週間以内にメールで差し上げます。それまでにメールが届かない場合、お手数ですが下記の事務局お問い合わせメールにご連絡ください。

※事務局お問い合わせメール：jimukyoku.daichikai@icloud.com

## SJF 参考資料

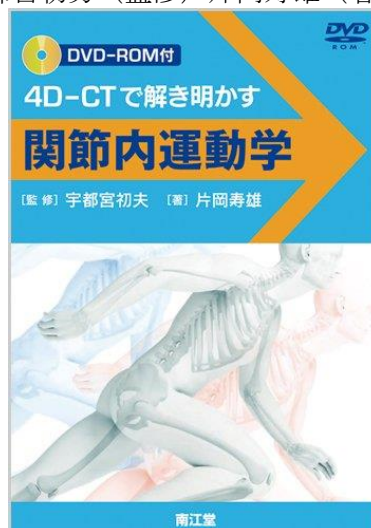
『SJF 関節ファシリテーション(第2版)』

宇都宮初男 (編集)



『4DCD で解き明かす関節内運動学』

宇都宮初男 (監修) 片岡寿雄 (著)



第2版、これまでの内容もブラッシュアップされ、後半にはだいぶ内容が追加されています。触診・評価と治療技術の詳細は本書、解剖学的構造・関節内運動はDVDも付いた『4D-CTで解き明かす—関節内運動学』と合わせて読むと大変理解が深まります。技術系の本は感覚的な内容が多い中ではかなり詳細に記載されており明確かと思えます。詳細なだけにこれを読むだけでは心が折れますが、講習会に出て、その補助として読むと非常に有効です。臨床でのSJFのメリットはとにかく早く結果を出せること。また、静的な場面で終始するのではなく、詳細な評価から機能障害を取り除き、基本的運動からADL/IADLといったパフォーマンスレベルの変化まで治療として関わるのもよい点です。長い時間寝かせきりという治療にはなりません。関節機能障害への治療ですが、関節内治療により関節内外への効果がありますから、当然周囲の筋・筋膜・皮膚・神経系への作用もあり、追記内容でも横隔膜への治療など呼吸器含め内臓への効果もあります。短時間で結果をださなければいけない外来患者やクリニック・自費診療の方から、訪問リハで治療結果をはやく出してADL訓練や自主練習・自宅内動作の提案をする場面など、幅広い領域で有効かと思えます。医療職であるセラピストとして、習得しておいてまず損は無い技術かと思えます。

先に紹介しました『4D-CTで解き明かす—関節内運動学』は解剖学・運動学などの教科書を読んだけど結局イメージが湧かない、本当の人間の動きを知りたい！という方にはとてもよい本かと思えます。実際の生きた人間の関節内運動が動画で見ることができます。どんな治療をされている方でもこういった関節内運動をイメージして治療するだけで明日からの臨床が変わるのではないかと思えます。